

北広島商工会だより

平成26年7月1日号
第81号

会員の状況 (部会の重複加入あり)

会員	731名 (+4、-7)
商業	447名 (+3、-1)
工業	343名 (+2、-6)
青年	40名 (+1、-2)
女性	59名 (+0、-0)

発行 北広島商工会事務局
責任者 事務局長 高田 信夫
〒061-1121
北広島市中央5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212
shokokai@kitahironavi.or.jp
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

■平成26年度通常総会 くすべての議案を可決く

5月20日、平成26年度の通常総会を上野市長はじめ、多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、ウエディングプラザ入舟で開催しました。

冒頭で上原会長から、最近の経済状況、消費税増税の実施、T P P交渉など、依然として中小企業を取り巻く経済環境の厳しさや、前年度の商工会事業などの取り組み状況を報告。これからも市内唯一の経済団体として、会員の皆様と役割を果たしていき



たいとの挨拶がありました。

当日は、総会員数734名(賛助会員44名含む)のうち、本人出席102名、委任状出席339名の計441名の出席をいただき、以下の議案が審議され可決承認されました。

- ①平成25年度事業報告について
- ②平成25年度更正予算及び収支決算報告について
- ③北広島商工会定款の一部改正(案)について
- ④北広島商工会加入脱退会費制裁

等に関する規約の一部改正(案)について

- ⑤北広島商工会役員選任規約の一部改正(案)について
 - ⑥北広島商工会青年部規約の一部改正(案)について
 - ⑦北広島商工会女性部規約の一部改正(案)について
 - ⑧平成26年度事業計画(案)について
 - ⑨平成26年度収支予算(案)について
 - ⑩平成26年度一時借入金の高限度額(案)について
- また、昨年の総会以降に会員となつた皆様の紹介と企業PRなども行われました。総会終了後には、賑やかに交流・懇談・名刺交換などが行われ、盛会のうちに終了することができました。

■日頃の勤労を称えられ く永年勤続優良従業員表彰式く

6月10日にウエディングプラザ入舟で永年勤続優良従業員表彰式を実施しました。14事業所から42名の従業員が表彰され、当日は23名の方が出席。式では、道塚副市長、中川議長ほか3名のご来賓と、事業主の方や当会役員等が受賞された方々を祝福しました。

表彰式冒頭で上原会長は「献身的に各事業所で業務に尽力し、職務を全うされていることに敬意を表する。今後とも豊富な知識や経験をもつて取り組んでほしい」と挨拶。受賞者へ賞状を手渡し、緊張した面持ちの受賞者一人一人へ「おめでとー」と声をかけていました。謝辞では株式会社ニューオータニビルの郡司光好氏が「勤務して三十年以上が経つが、早かったようにも思える。今後はこれまでの経験を後進に伝えていきたい」と受賞者を代表し挨拶されました。



平成26年度 北広島商工会 永年勤続優良従業員表彰式

従業員は、就労状況や能力を事業所として承認することにより、個人のモチベーションを引き出し、事業所の活性化も期待されます。商工会の永年勤続優良従業員表彰は、毎年各事業所に勤務している従業員の方を対象として商工会の日である6月10日にあわせて実施しています。対象となる従業員の方がおりましたらぜひこの制度をご利用ください。

■事業承継を考えるのはいつ く事業承継セミナーく

日本企業の3分の2は後継者がいない。後継者難による廃業が年間7万6000社にのぼり、35万人が失業している。このことが産業全体の衰退につながる大きな問題となっていることから、会員企業において事業承継を考えるきっかけとして、6月17日商工会館において事業承継セミナーを開催しました。

講師の北洋銀行、佐藤剛史氏からはセミナーの中で「事業承継の現状は前述とおりだが、加えて社長の平均年齢は30年連続で上昇し、現在は60才となっている。また、20年前には親族による承継が約8割だったものが、親族以外の割合が約4割となり今後増えていくことが予想される。」との思いもよらぬ説明がありました。

事業承継を相続の問題と捉えている方も少なくないかもしれません。財産は相続税の非課税枠を利用し一定程度引き継ぐことはできるかもしれませんが、ただし株式の価値は利益により毎年変動します。また、同族会社だから大丈夫と思つていても企業を安定的に継続するという面では、取締役選任(解任)権が行使できる51%以上、特別決議通過権が行使できる67%以上の株式をオーナーが取得する必要があります。さらに後継者を育成する時間も必要となります。

事業承継には、平均で5年程度の期間を要することから、早急に後継者を決



め計画的に着手する必要があるかもしれません。後継者となる方の意思や財産状況など今すぐ確認することから初めてはどうでしょうか。

●無料法律相談会実施中

当会では、会員事業所サービスとして無料法律相談会を実施しています。申込方法は、当会にご連絡いただいたあと、専用の申込書を弁護士事務所に直接送っていただきます。相談日時は両者の都合により決め弁護士事務所で行われますので、相談内容は当会でも分からないようになっていきます。相談内容は、会社経営に関わることや個人的なものまで幅広く受け付けていますので、お気軽にご利用ください。(担当:竹内、高田)



新会員紹介

△商業部会

○(有)雀家

雀地 剛史 様
大曲772-74

○ビーライト

開発 康一朗 様
輪厚中央5-2-6

△工業部会

○水野工業

水野 忠彦 様
大曲並木2-6-17

△両部会

○東日本高速道路株

北海道支社 札幌管理事務所
渋谷 優 様
大曲並木1-1-1

■全国商工会青年部連合会統一事業
「絆」感謝運動

この事業は、東日本大震災をきっかけに平成24年度から実施しています。震災の復興支援活動等では、人と人との結びつきの大切さが見直されました。その経験から、全国約1,700商工会青年部では青年部と地域における「絆」をさらに強化していくことを目的に商工会の日である6月10日を目的に奉仕活動などを一斉に行っています。



当青年部では6月11日に奉仕活動として清掃を実施。商工会館から道道江別恵庭線新富町方面、エルフィンロード、JR北広島駅までの区間を11人でゴミ拾いをしました。歩道には、たばこの吸い殻が多くなり、緑地帯には空き缶やお菓子の空き袋などが散乱していた箇所もありましたが比較的ゴミが少ない印象を受けました。

今後も青年部と地域の結びつきを大切にした活動を続けていきます。

■講師例会

緊急時の対処方法を学ぶ

当青年部では、イベントで来場者の方が体調不良などの緊急時に備えて北広島市消防本部で「普通救命講習」を受講しました。平成23年の受講から2回目となる今回は、6月18日に前回受講した青年部OB2名と事務局を含む16名が参加。救命・救急の知識と胸骨圧迫(心臓マッサージ)

ジ)・人工呼吸の実技およびAEDの操作方法を学びました。



初めて受講する部員等もより、2回目の部員等も忘れていたことも多くあり、改めて緊急時の対応の仕方を再認識できたことは大きな自信につながり大変有意義でした。今後も、2〜3年毎の定期的な受講を実施し、企業や青年部活動で役立てていきます。

■チャリティービアガーデン 開催のお知らせ

今年も北広島青年会議所・道央農協青年部北広島ブロックの後援をいただき、芸術文化ホール臨時駐車場で2日間開催いたします。

ステージイベントでは、ふるさと太鼓保存会、北広島青年会議所によるイベントや道央農協青年部北広島ブロックによる野菜イベントも予定。さらに毎年好評な抽選会では、豪華賞品を用意しています。

また、「きたひろ まいピー」が出演するイベントも予定しておりますのでお楽しみに!

昨年は、2日間とも雨に見舞われ大変悔しい思いをしました。今年も雨が降らないことを願い、お客様には昨年の分も楽しんでいただきます。ご家族や会社の仲間等お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。

この事業の売上の一部は、市内小学校1年生に文房具を寄贈する費用に充てさせていただきます。

ます。

※前売りチケット(1冊1,000円)は1,100円分が利用できる10%のプレミア付でお得です。7月24日まで商工会館で販売中!
※抽選券は会場にて当日100円で販売します。

○日時
7月25日(金) 午後4時〜午後9時
7月26日(土) 午後2時〜午後8時
○場所
芸術文化ホール臨時駐車場 (北進通沿い)

女性部 (部長 澤田 美恵子)

■コスモス畑の種まき・草取り実施
当女性部では、毎年輪厚川河川敷にコスモスを植えています。今年も5月24日に部員14名と市役所から商業労働課2名の参加をいただき、約3,000㎡の畑に1時間かけてコスモスの種をまきました。

6月21日には、1回目の草取りを部員12名の参加で実施。種を植えてからは天候にも恵まれ、約一か月が過ぎ雑草がコスモスよりも大きく、畑一面青々と伸びていました。当日、部員は霧雨が降るなか、朝7時から1時間以上作業しましたが、全部の雑草を取り除くことはできませんでした。



た。

コスモス畑の草取りはあと1回実施する予定で、天候にもよりますが9月下旬には綺麗なコスモスが畑一面に咲く予定ですので、ぜひご覧ください。

■環境ひろば運営協力

6月28日、大曲の夢プラザで環境ひろばが開催されました。この事業は環境意識、省エネルギーの推進を図るための環境啓発イベントです。環境クイズや環境ビンゴ、ソーラー工作体験、地場産品の紹介、環境ポスターや環境標語の展示等を実施し、女性部は受付や表彰式など、運営協力しました。



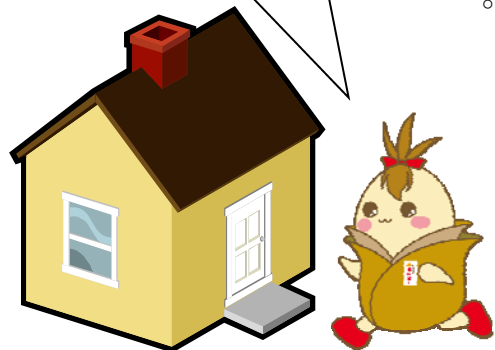
●巡回訪問強化月間

当会では、6月から9月を企業訪問の強化月間として職員が巡回をしています。

今年も、各種共済制度の普及促進および各事業所の現状等について聞き取り調査を合わせて実施しています。

また、ご意見ご要望も受けていきますので、当会職員が訪問した際にはお気軽にお申し付けください。

お伺いの際は
色々なお話を
お聞かせください。



きたひろ まいピー
オリジナルグッズ発売中!!



好評発売中!

- ・メモ帳・箸・ストラップ
- ・シャープペンシル
- ・オリジナル切手

商工会にてマイピーオリジナルグッズ販売中です。ここでしか購入できないグッズですので、ぜひお買い求めください。※メモ帳は現在品切れ中です。

～中小企業退職金共済制度説明会・個別相談会～

中退共本部スタッフが共済制度の説明のほかに個別相談を行います。

開催日時 平成26年7月18日(金)14時00分～16時30分
開催場所 札幌商工会議所 北海道経済センター8階
Bホール1号室

内 容 ①北海道および北海道労働局からのお知らせ
②中退共制度について
③個別相談会

募集人員 50名
※新規加入を検討されている事業主、企業の人事・労務担当者、社労士、その他関係機関担当者

受講料 無料
問合せ先 独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部事業推進部
加入促進課
TEL 03-6907-1234(内3721)
FAX 03-5955-8220

なお、説明会に参加する場合には下記のアドレスより参加申込書をダウンロードしていただきファックスでの申込みとなります。

http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/soudan/pdf/soudan_hokkaido_140718.pdf

平成26年 経済センサス-基礎調査 商業統計調査

今回、総務省・経済産業省では「経済センサス-基礎調査」と「商業統計調査」を実施しております。

経済センサス-基礎調査は、事業所及び企業の活動の状態を調査し、すべての産業分野における事業所及び企業の従業者規模等の基本的構造を全国及び地域別に明らかにするとともに、各種統計調査の基礎となる母集団情報の整備を図ることを目的として実施されています。

商業統計調査は、商業を営む事業所について、産業分類別、従業者規模別、地域別等に従業者数、商品販売額等を把握し、我が国商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料を得ることを目的として実施しています。

この調査結果は、我が国の社会発展を支える基礎資料としてさまざまな分野で活用されております。お手元に調査票がありましたら趣旨をご理解いただき調査へ回答願います。

～知的財産に関するご相談は～

北海道内の中小企業等が企業経営の中で抱えるアイデア段階から事業展開までの知的財産に関する悩みや課題を一元的に受け付け、知的財産に携わる様々な専門家や支援機関と共同して、その場で解決を図るワンストップサービスを提供する「知財総合支援窓口」(特許等取得活用支援事業)を設置しております。知財に関することを何でもお気軽にご相談ください。



利用時間/9:00～12:00、13:00～17:00
休 日/土曜・日曜・祝祭日・年末年始
(12月29日～1月4日)

〒060-0807
札幌市北区北7条西4丁目1番地2 KDX札幌ビル5階
北海道知的財産情報センター
一般社団法人北海道発明協会内
TEL 011-747-8256 FAX 011-747-8253

新規学卒者の雇用についてのお願い(写)

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、本道における経済・雇用対策の推進につきましては、平素より格別のご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、道内の雇用失業情勢は、求人が増加傾向にあるなどから、4月の有効求人倍率が0.76倍と51カ月連続で前年同期を上回るなど持ち直しの動きが続いております。
本年3月の新規高等学校卒業者の就職内定率は、前年同期を2.5ポイント上回る95.4%と、平成6年3月卒以来の高水準となりました。また、新規大学卒業者の就職内定率は、前年同期を0.9ポイント上回る89.1%となり、平成7年3月の就職内定率89.7%以来の高さとなりました。これは貴会ならびに会員事業所の皆様方の新規学卒者に対する深いご理解とご協力の賜物と感謝いたします。
しかしながら、少子高齢化が急速に進行し、労働力人口が減少する中、今後の北海道経済の発展を図るためには、若者が自信を持ち、能力を高め、生き生きと活躍できる場を関係者が一丸となって確保することが以前に増して必要であると考えております。
このようなことから、北海道、北海道教育委員会、北海道労働局、北海道経済産業局をはじめ関係行政機関といたしましても相互の緊密な連携のもと、新規学卒者が将来への希望を胸に正社員として就職できるよう、全力を挙げて就職支援の取組みを求めているところであります。
貴会には、従来より、深いご理解と積極的なご協力をいただいている中での更なるお願いで誠に恐縮ではございますが、来春の新規学卒予定者、特に高校卒業予定者に対する求人枠の確保と、今春未就職のまま卒業した者に対する就職機会の拡大について、貴会会員企業の皆さまのご理解とご協力が一層深まりますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

謹言

平成26年5月30日

北海道商工会連合会
会長 荒尾 孝司 殿

北海道知事 高橋 はるみ
北海道教育委員会 教育長 立川 宏
北海道労働局長 羽毛田 守
北海道経済産業局長 増山 壽一